

>>>> 技術支援事例を知事に報告 <<<<

11月19日に、当センターが技術支援を実施し、商品化等につながった2つの事例について知事に報告しました。

特殊切削工具を主力製品としている(株)信栄製作所は、当センターや大阪大学接合科学研究所と共同研究を行い、金属とセラミックスを特別な加熱方法で接合する技術を完成させました。

同社は、この技術を生かして宝飾品への応用展開を図り、世界初の「固定爪」のないジュエリーを開発しました。このジュエリーはダイヤモンドとプラチナを直接接合しているため、ダイヤモンドの輝きを100%引き出せます。

同社は、販売会社である(株)T & Tジュエリーを立ち上げ、「SKYLIGHT」の商品名で新たな分野への展開を図っています。今年5月には2012日本ジュエリーアート展に入選するとともに、展示会(ジャパンジュエリーフェア2012)では、100社を超える大きな反響を得ています。

また、芋焼酎「黒伊佐錦」が主力商品の大口酒造(株)は、当センターから技術指導を受けて実施

した焼酎用サツマイモの選抜試験で、今回「ハマコマチ」を選抜し、この品種を用いた焼酎「伊佐小町」(いさこまち)を新たに商品化しました。

この焼酎には、企画から商品開発まで社内の女性社員「しょちゅガール」が携わっており、花やフルーツのような甘い香りが特徴で、アルコール度数も13度と軽い口当たりとなっています。また、この「伊佐小町」は「2012かごしまの新特産品コンクール」特産品協会 理事長賞も受賞しています。



報告の様子

>>>> 特許登録 <<<<

県と株式会社アイティー・コーポレーションが平成20年10月4日に特許出願した「スクリーン製版の外観検査装置」が、9月14日に特許登録されました(特許第5082162号)。

本発明は、光学的な手法により透明物質等を検出する技術を用いた外観検査装置に関するものです。

具体的には、ハロゲン光の光路上の光源側と受光側にそれぞれ偏光フィルタを設置し、偏光フィルタの間に検査するスクリーン製版を置く構造とすることで実現しています。

従来のスクリーン製版の外観検査では、ピンホールやパターン内の欠損、目詰まり(不透明)等の不良は発見できますが、パターン内に透明樹脂等の目詰まりがある場合は発見することが困難

でした。この技術により、従来の不良を検出すると共に、これまで困難であった透明樹脂によるパターンの目詰まり等も検出することが可能となります。



(その他の発明者：戸村文男，山下丸男)

